

NO. 7 事業名 中山間地域総合整備事業（国補）  
箇所・地区名 <sup>かじか</sup> 鰻 <sup>ざわ</sup> 沢

平成20年度公共事業等事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補**・県単

事業名	中山間地域総合整備事業		事業箇所	南巨摩郡鯉沢町	地区名	鯉沢	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H10年度	(2)事業期間	H10～H15	(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	1,110百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景					(8)事業位置図等			
<p>本地区は、鯉沢町の富士川、大柳川沿いに位置する中山間地域を対象とし、棚田や山腹を切り開いた傾斜地での畑作などの農業が行われている。こうした、生産条件が厳しい地域であることから、農家の生産意欲は減退していた。</p> <p>こうしたなか、これまで町では恵まれた自然環境を活かし水辺公園・遊歩道のほか、「かじかの湯」、郷土料理を提供する「つくたべかん」などを整備し、都市住民との交流の場を整えてきた。</p> <p>今回の事業では、農道や用排水路を整備することで、営農条件の改善を図るとともに、活性化施設において農産物等の直売や交流の場を提供することで、さらなる都市との交流を図り、農家の生産意欲を高めるとともに地域の活性化を目指すものである。</p>								
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果								
<p>主要目標 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上</p> <p>副次目標 農業用排水能力の向上</p> <p>副次効果 農林産物の販売促進</p>								
(7)整備内容(目標達成の方法)								
<p>農道工 9路線 L=2.5km W=4.0m                  用排水路 4路線 L=0.9km 0.4*0.4m                  集落道路 2路線 L=0.6km W=4.0m                  農村公園 1カ所 3,000m<sup>2</sup>                  活性化施設 1棟 369m<sup>2</sup></p>								

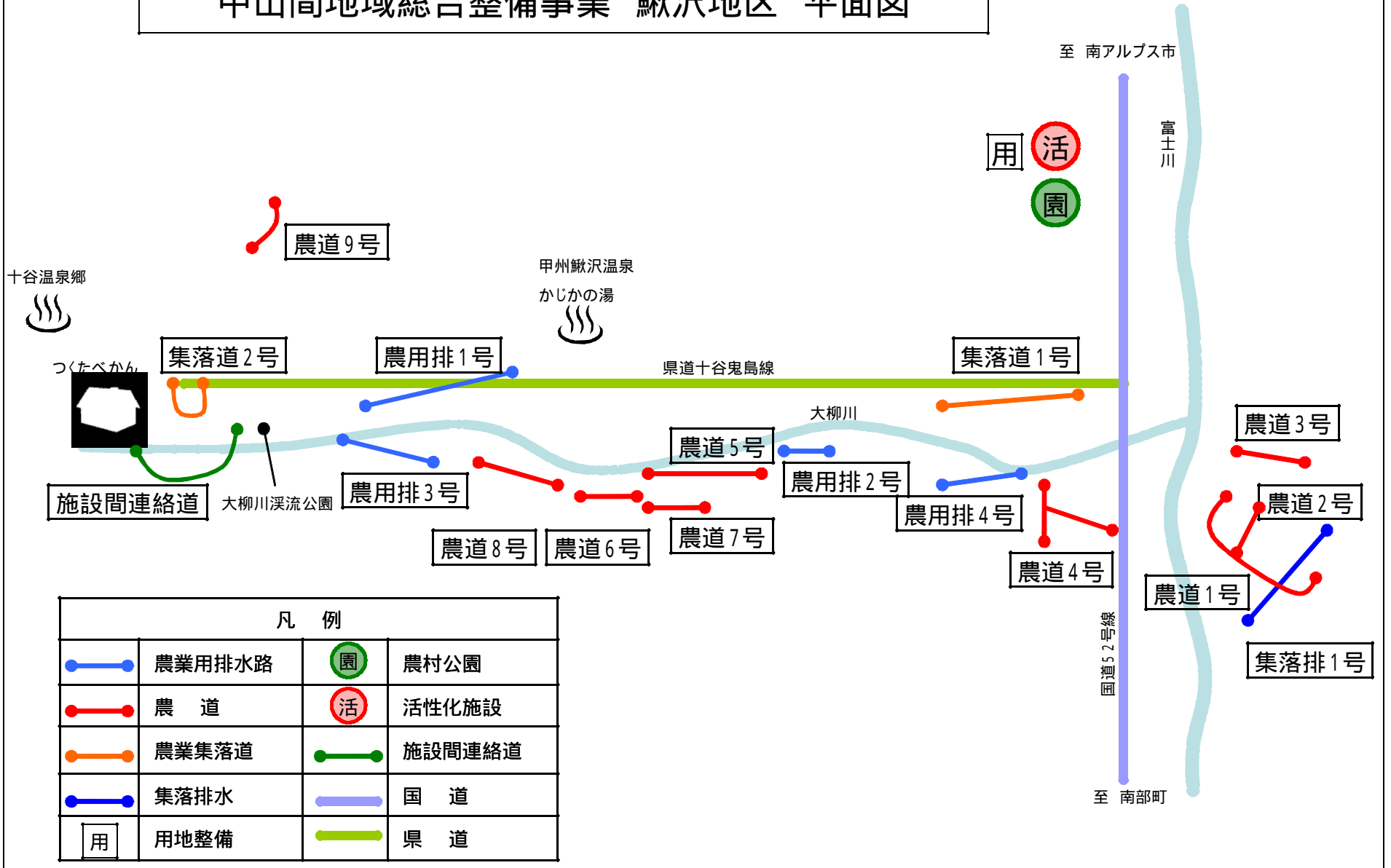
2. 評価シート(1)

<p>(1)事業貢献度 <span style="float:right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">良</span> ・ 不良</p> <p>(理由)                  用排水路、農道が整備されたことにより、農作物の品質向上や運搬時間が短縮されるとともに施設管理が容易となったため、農業経営の改善が図られた。                  活性化施設が都市住民との交流拠点となり、農産物や特産品の生産活動が活発になった。</p> <p>主要目標 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所得増加額</td> <td>937千円/ha</td> <td>1,048千円/ha</td> </tr> <tr> <td>農村公園受益者数</td> <td>486人/千m<sup>2</sup></td> <td>1,431人/千m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>交流施設利用者数</td> <td>194人/日/施設</td> <td>358人/日/施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業所得額が、基準値1,203千円/haを下回っているが、活性化施設に設置された農産物直売コーナーへ供給する農家が45戸あり、売り上げを伸ばしている。</li> <li>農村公園利用者が、基準値673人/千m<sup>2</sup>を上回っている。</li> <li>交流施設利用者が、基準値55人/日/施設を上回っている。</li> </ul> <p>副次目標 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水能力</td> <td>1.0    1.41</td> <td>1.43</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水能力の向上率が、基準値を上回っている。</li> </ul> <p>副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林産物の販売促進</td> <td>活性化施設において、地域特産品のPRや農産物などの直売が行われている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の事業効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設である「つくたべかん」、大柳川溪流公園、十谷温泉を結び遊歩道を整備したことにより、多くの都市住民と交流が図られている。</li> <li>加工施設や直売所ができたことにより生産グループ等の活動が活発になったとともに、直売所へ供給する農家の所得増加が図られている。</li> </ul>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	所得増加額	937千円/ha	1,048千円/ha	農村公園受益者数	486人/千m <sup>2</sup>	1,431人/千m <sup>2</sup>	交流施設利用者数	194人/日/施設	358人/日/施設	指 標	着手時点数値等	評価時点数値	排水能力	1.0    1.41	1.43	項 目	内 容	農林産物の販売促進	活性化施設において、地域特産品のPRや農産物などの直売が行われている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 <span style="float:right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> ・ 無</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,055,000千円</td> <td>1,110,000千円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H10～H14</td> <td>H10～H15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>(1,196,601) 556,391千円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>(1,671,264) 696,722千円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>(1.40) 1.25</td> </tr> </tbody> </table> <p>費用・便益・B/C欄の下段値は農業生産基盤のみを対象に算出し、上段値は生活環境基盤を含めて算出したものである。</p> <p>(要因変化の分析)</p> <p>費用：物価上昇等による増及び、一部既設利用などによる事業量の見直しに伴う減。</p> <p>便 益：物価上昇等による増。</p> <p>B/C：物価上昇により費用・便益が増となったが、事業量減に伴う費用の減が生じたため、B/Cは上昇した。</p> <p>(3)事業実施による環境の変化 <span style="float:right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有</span> ・ 無</p> <p>自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集落道の拡幅改良や集落内の排水路の改修により、生活環境が改善された。</li> </ul> <p>環境保全対策の効果の発現状況(措置を講じた場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>(4)社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 <span style="float:right;">有 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span></span></p> <p>社会経済状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>関連計画・関連事業の状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>事業環境等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,055,000千円	1,110,000千円	工 期	H10～H14	H10～H15	経済効率性	費用	(1,196,601) 556,391千円	便益	(1,671,264) 696,722千円	B/C	(1.40) 1.25
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																					
所得増加額	937千円/ha	1,048千円/ha																																					
農村公園受益者数	486人/千m <sup>2</sup>	1,431人/千m <sup>2</sup>																																					
交流施設利用者数	194人/日/施設	358人/日/施設																																					
指 標	着手時点数値等	評価時点数値																																					
排水能力	1.0    1.41	1.43																																					
項 目	内 容																																						
農林産物の販売促進	活性化施設において、地域特産品のPRや農産物などの直売が行われている。																																						
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																					
総事業費	1,055,000千円	1,110,000千円																																					
工 期	H10～H14	H10～H15																																					
経済効率性	費用	(1,196,601) 556,391千円																																					
	便益	(1,671,264) 696,722千円																																					
	B/C	(1.40) 1.25																																					

評価シート(2)

<p>(5)今後の事後評価の必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	<p>(7)同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の事後評価において、所得増加額、施設利用状況等が計画を上回るなど十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ない。</li> </ul> <p>「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期： 年度</li> <li>・ 方法：</li> </ul>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul> <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>
<p>(6)本事業における改善措置の必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>	<p>(8)事業評価手法の見直しの必要性</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul> <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul> <p>(既の実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul> <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>
	<p>(9)その他特筆すべき事項</p> <p style="text-align: right;">有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ なし</li> </ul>

# 中山間地域総合整備事業 鯉沢地区 平面図



添付資料シート(2)



狭小で未舗装の農道を整備したことにより、通行の安全性確保やほ場への進入が容易になった。



老朽化した水路を整備したことにより、安定した農業用水が確保された。





活性化施設外観



活性化施設の直売コーナーでは、地域の新鮮な野菜などが販売されている。



活性化施設の加工室では、特産品の調理加工が行われている。



農村公園で開催されたきのこづくり教室